No. 141

昭和31年6月18日第3種郵便物認可
毎月1回1日発行
定価1部15円
印刷所 田辺印刷株式会社
上田市原町 TEL (2) 1492・2566

千曲会報

昭和39年4月1日

編集兼発行人 小林尚一
発行所 社団法人 千曲会
長野県上田市常入信州大学繊維学部内
振替 長野 6243・東京43341
電話上田(2)1215(代表)(2)1218(直通)

テクスチャードヤーンの概観

蝶理株式会社（合成繊維研究室長） 川崎健太郎

1，特質

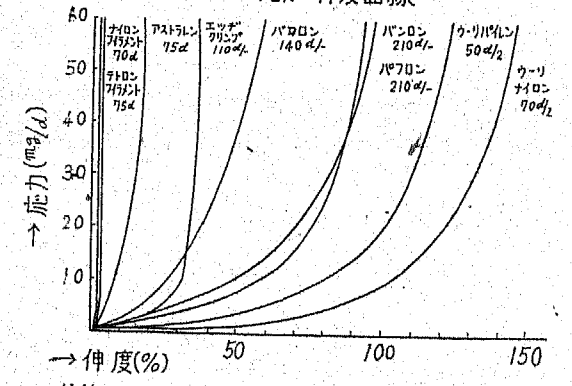
フィラメント糸に巻縮を与え，天然繊維の持つ秀れた性状に近付こうとする試みは，ナイロン糸がその熱可そ性によって秀れた形態固定能をする糸として用いられるようになって以来急速な進歩をとげ，フィラメント糸と紡績糸の間に，新たな形態の糸―テクスチャードヤーン―として工業的，商業的に確乎たる地位を占めるに至っている。

この糸は，いわば併列していないクリンプフィラメントの集合体で，大きなかさ高性を有し，また大部分の糸は繊維の形態的変形に基づく大きな伸縮性を示す。

ストレッチヤーンの形態的特性 （米）半波長を示す

試料	デニール繊度	フィラメント(mm) 平均振巾	平均波長(米)	糸 比容積(cc/g)	デニール増加率	巻縮伸長率%
仮より糸	ナイロン 70d(34f/2)	0.090	0.150	23.2	3.0	180
エッジクリンプ	ナイロン 110d(24f)	0.201	0.630	32.2	1.6	50
スタッフィング	ナイロン 140d(68f)	0.164	0.286	40.6	1.8	73
噴射法糸	ナイロン 210d(34f)	(0.194)	—	12.3	1.5	0
綿 Acala 1517		0.190	1.09	Marshikの係数より換算した比容積		16.3
〃 Deltapine 15		0.345	3.57	綿糸(太)2.56cc/g		9.9
羊毛 Merino 90's		0.105	0.66	梳毛糸 1.26		1.55
〃 Scotch-Black face 52's		1.31	9.45	紡毛糸 1.44		10.9

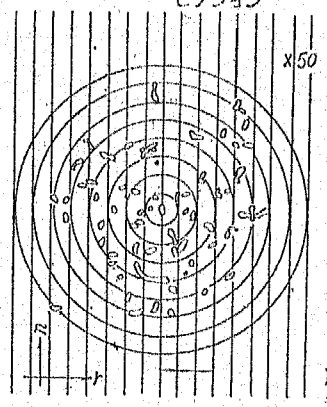
第1図 ストレッチヤーンの応力~伸度曲線



この伸縮，かさ高糸は，一般にストレッチヤーンと呼ばれ加ねんによるトルクヤーン，スタッフィングヤーン，エッジクリンプヤーンなどが著明である。ノンストレッチヤーンは現在空気噴射による加工糸タスランが市販されているにすぎない。これらの糸は加工法によって与えられるクリンプの形状，細かさなどが異なり，また天然繊維のクリンプ形態とも異なるものが多いが，第1表で明らかなように一般にそのクリンプ波形は細かく，また巻縮性も著しく，かさ高性も大きい。

第1図は代表的なストレッチヤーンの形態変形（クリンプ伸び）領域下の応力~伸度曲線を示すものである。この曲線において，クリンプが伸び切れば，繊維自体の伸長が起る訳で，クリンプ伸びの初期部分の傾斜とそれを比べると10^{-3}程度の差がある。すなわち，製品化の過程において，あるいは最終時における組織中での糸の伸び状態（それは完全に伸びた状態を1とすれば，0.6～0.7 程度の収縮長と考えられる）では，その応力~伸度特性は繊維の材料的性質よりも与えられた形態的な要因（クリンプの形状，細かさ，フィラメント数など）に左右されると考えられる。

第2図 ウーリナイロン糸のセクション



2，糸の形態

第2図は，ウーリナイロン糸の封入セクションの一例をトレースしたものであるが，この図からも明らかなように，糸を構成する各フィラメントは広範囲にちらばり，紡績糸のように糸の外周と毛羽の境界面がないことはこの糸の大きな形態的特徴と考えられる。筆者らは，糸中の繊維分布を計測した結果，それは各繊維を質点と見做して定められる糸軸からの距離に関する正規分布関数で表わされることを確認し，この分布関数のパラメータである標準偏差によって糸の見かけ太さを規定することを提案した。

この糸中における繊維分布の特徴は，テクスチャードヤーンの布地に適度の柔軟性と豊かな感触を与え，繊維自体の疎水性をカバーする抱水性などに寄与するものと考えられる。

3，今後の動向

1）これまでわが国におけるテクスチャードヤーンの消費の大半は靴下向けであったが，最近のジャージィブームの波に乗って，メリヤス外衣用糸としてのストレッチヤーンへの期待は高まりつつある。すなわち，ストレッチヤーンの持つ秀れたかさ高性，編目の均整さ，美しさ，耐ピリングどな性の諸点は，最近の加工プロセスの高速化，合理化によるコストダウンと相俟って，その需要を拡大するものと考えられる。

また，海外では伸縮織物の素材としてストレッチヤーンの発展が伝えられている。スキーズボン，水着，スラックスなどのスポーツウエアから，最近ではタウンウエアすなわち一般衣料へとその使用が拡大されつつあるものの如くである。

ストレッチヤーンの製造技術に関しては，すでにこれまで

に開発された各用途について，これまでのオールラウンドタイプの糸から，より適合した形の糸へと，modification と development の時期にあるともいえよう。ジャージィ用素材としてのストレッチヤーンについては，編地の美しさとよりかさ高い感触へと益々改良への要求は高まりつつある，ストレッチフアブリック用素材としては stretch のみならず elasticity が望ましい。

2）最近内外で企業化されつつある elastomer 繊維 "Spandex" は，その特性あるいは用途的に見てストレッチヤーンに重要な関係がある。Dupont Chemstrand などが中心となって開発した core spinning による弾性糸（精紡時に粗糸とともにスパンデックスフィラメントを送り込んで作られた，スパンデックスを芯糸に粗糸がスパイラル状にからんだ糸）は，その豊かな感触と，機能的な伸縮性によって来春から米国では市販するべく準備が進められている。この種の布地は，ストレッチヤーンのみのそれに比べ，瞬間的な回復性に秀れ，形態安定性も良好のようである。

3）また最近の著明な傾向としては紡糸時にクリンプを与える試みがある。このクリンプ発生機構はすでに古く，羊毛のクリンプ，あるいは巻縮スフのクリンプについて研究されたメカニズムと類似で，いわゆる bilateral structure を人工的に紡糸時に内在せしめることにある。

この方法は Dupont 501 ナイロンなどの異形断面繊維（主としてカーペット用）の製造技術に付随して開発されたものの如くで，紡糸時に強制的にノズルから冷風を噴射して異方的な冷却を行なうことを要旨としている。

このような機構によって与えられた潜在的な巻縮と，機械的な手段で与えられるテクスチヤードヤーンのクリンプは，おそらくその細かさ，規則性，クリンプ形態などが異なるため，必ずしも競合はしないと考えられるが，今後の発展が最も期待される分野の一つと思われる。

第12回卒業式挙行

3月10日午前10時より母校講堂において第12回卒業式が厳粛盛大に挙行された。式は上屋事務長の開式のことばにつづいて小泉学部長より別掲の式辞があり，三村学長から卒業生繊維農学科17名，紡織工学科48名，繊維工業化学科34名，計99名および聴講生2名に証書が授与された。三村学長の告辞，文部大臣（加藤清一教育学部長代読）の祝辞を初め長野県知事西沢権一郎氏（細川上小地方事務所蚕糸課長代読）上田市長小山一平氏（高槻上田市助役代読）および千曲会を代表して加藤秀次郎理事の祝辞があり，在校生総代前田建夫君の送辞，卒業生総代富山昌臣君の答辞があって螢の光合唱11時半終了した。



式 辞

本日ここに信州大学繊維学部第12回卒業式を挙行するにあたり多数の来賓各位ならびに父兄母姉の皆様のご臨席をいただきましたことは本学部のまことに光栄に存ずるところでありまして心から厚く御礼申しあげます。

本日本学所定の単位を修得しそれぞれ農学士あるいは工学士の称号を授与せらるる諸君は繊維農学科17名，紡織工学科48名，繊維工業化学科34名，合計99名であります。4年間の螢雪の功なって栄ある卒業式に列席できることは卒業生諸君の喜びはいうまでもありませんが，また諸君を今日あらしめた父兄母姉の皆様のお喜びもさこそと推察いたされます。長い間ご苦労様でした。諸君は本日の栄光は決して諸君の力だけでなく，保護者の皆様の一方ならぬご労苦によること，また社会が諸君に許した寛容の制度によることを，この際十分に心に噛みしめて欲しいと思います。さあれ4年間諸君と日常をともにしたわれわれ教職員も諸君の成業と社会への船出を名残惜しく思うとともにまた心から祝福したいと思います

さて，諸君いまはめいめいの人生行路に大きな段階を画して学園を去ろうとしています。諸君の胸中には過ぎ去った長い学生生活を回顧し，社会への船出について展望するさまざまな感懐が去来しているでありましょう。私はこの時にあたって諸君の学生生活の最後の場で相手となった立場から，希望を述べて諸君へのはなむけの言葉といたしたいと思います

今は世界も日本も激しく動いて，人類の歴史は急速に変転しつつあります。その中で諸君が立身するよすがとしての技術や科学はこの変動に大きな役割を果しております。過去においても科学と技術は歴史の進路に大きな影響は与えましたが，しかしそれは歴史の主流を左右するほどのものではなかったのであります。しかし今はこれらと社会との相互の関連や，相互の滲透は，文化の驚くべき変革がこのことを度外視しては考えられないほど大きなものがあります。したがっていろいろの事件に対する科学者や技術者の参加の責任はますます重くなり1個の人間としての道徳的なあり方についてさえも世間の批判が加わってきます。とくに技術は，科学がその能力の発現が比較的せまい面に局限されるに反していつでもその時代の人類のあらゆる生活の面に同じ程度の前線的な役割りを果たすことに思いをめぐらせば，諸君の大多数が格付されるであろう技術者としての責任は非常に重いといわねばなりません。諸君はまずこのことを自覚する必要がありましょう。

次に諸君は大学において培いえた学力ないし実力という点を謙虚に反省してもらいたいと思います。卒直にいって，私は大学における教育あるいは戦後の新教育の理念がどの程度に現代の大学生にうけとめられているかについて疑念を抱いております。大学には定められたカリキュラムがあり，それに従って機械的な教育が施され，卒業に際して就職を斡旋すれば大学の任務終れりとする惰性的なゆき方がないわけでなく，この点は大学教師のおおいた自戒すべきことでありますが，同時に学生の側にも，大学を単に社会に出るエスカレーターとして無為に過ごし，あるいは足が地につかないひとりよがりの運動に没頭し実力涵養を怠ったところがなかったかどうか。これにはもちろん社会風潮の影響を見逃すわけにはゆかないとしても，1面学生の自覚心の欠除にも問題ありと考えられます。いかに高邁な理想をかかげてもこれを裏づける底力がなければいつかは大きな反動に見舞われることは必条でありましょう。次に最後の新教育制度についてでありますが，この制度の一のよい点は既成の概念や公式にとらわれることなく，自分の頭でものを考え，その判断を他人の意志や

判断とかみあわせて，自己を1歩前進させるゆき方の養成にありと私は思っていますが，このことを就中自分でものを考える力が最後の学生生活の場でどの程度前進できたか。現代の青年には研究心が足りない。深さがないという言葉をよく聞かされることからしても，実際には科学や技術に対してのみでなく，人生の指針たるべき思索に対する習慣も案外軽く扱われていないかと感ぜられるものであります。深い洞察力や間違いのない判断力はやはり深い学識に根をおろしたものでなければなりませんが，諸君は大学生活を終るにあたってこの点をどのように考えるでありましょうか。大学における実力涵養の不足と，現代社会における技術者の責任がますます重加することを思いあわせると，諸君は社会に出てからの勉強が依然として，いなむしろ今までより以上に強く要求されることに気がつくでありましょう。人生における勉強は墓場にゆくまで続くとはいえ現在の諸君にとっては努力が特別に必要である社会的地位におかれていることをさとってもらいたいのであります。

だがしかし諸君には大きな特権があります，それは何か。諸君が若く新鮮であるということであります。この世の中で若いということほど有力で貴重なものはありません。その若さと新鮮さを秘めて輝かしい未来の展望を試みるのがいわば諸君だけがもっている特権であります。これはわれわれの貧しい人生経験の一つでありますがいくつかの学校を経過する間にもった多くの友人の中で，学校時代には成績もよくなく大勢の中に埋もれて存在さえはっきりしない，中には馬鹿にされて学校を卒えたような人が，何年かたって逢ってみると，すごく成長している。堂々たる意見，みごとな采配ぶり確固たる信念，さかさになっても足許へも寄れない力を身につけている。学校時代どこにそんな力がひそんでいたのか，かくされていた能力が開発されたのでありましょうが，しかしこれは決して努力なしに到着したものではありません。若い人はこわいとは私が平素からもちつづけている感慨であります。ひそんでいる力が本人の心掛次第でどのようにも伸びる，みかたによっては先輩や老人は恐しくありません到達しうる限界が知れているからであります。未完成の恐ろしさ，諸君は誰もがこの潜勢力をもっているのであります。いま諸君をとりまいている現実は冷たくあるいは厳しくまたこれから諸君の進む道は時に暗く時に嶮しいこともありましょう。だが諸君はたえざる研究と努力社会に対する深い認識そして真面目な生活態度で一歩ずつ前進するならば諸君の前途には気持のよい明るい世界が開けてくることは必条であります。未来は諸君のものであります。いま学園を巣立ってゆく諸君はこの希望に充ちた未来を心ゆくまで胸中に画くことができるのであります。

切に諸君の自重と自愛を念願する次第であります。

昭和39年3月10日

信州大学繊維学部長　小　泉　清　明

文部大臣祝辞

本日の卒業式にあたり諸子がめでたく卒業の栄誉をになわれたことを心からお祝い申し上げますとともに，ここまで諸子を導いてこられたご両親学長および教職員各位のなみなみならぬお労苦に対し深く敬意を表します。

諸子はこれまで10数年の長きにわたり学窓に学び研さんを積みここにようやくその業を終えられたのでありましてそのよろこびと感慨はひとしお深いものがあると考えます。

またそれとともに今新しい生活の門出にあたって大きな希望に燃えていることと思います。

わが国は最近世界の驚異といわれるような成長をとげ産業経済国民生活の各部面に著しい発展と変化を見せております。国土がせまく資源に乏しいわが国がよくこの成果をあげえたゆえんは先人の努力によって内に国民の能力をつちかい産業を充実強化するとともに広く世界諸国民との友好を進め交易を盛んにしたからにほかなりません。しかし今や世界各国は共存共栄のうちにも自国の繁栄を確保するため政治外交経済文化の各方面にわたってめざましい活動を展開しております。がわが国もまたこの世界の大勢に備えて一段と国力の増進に努めなければなりません。すなわちさらに一層学術文化を興し産業社会の高度化をすすめ国民生活を豊かにするとともに世界諸国民との経済文化の交流を進めて人類福祉の向上に寄与しなければなりません。

このときにあたりわが国の将来を双肩になって学窓を巣立とうとする諸子に対し国家社会の期待するところは多大であります。

近時科学技術の発達物質文明の繁栄に対し心の再建を強調する声が高まり人間性のかん養国民精神の高揚が強く要請されております。民族の繁栄国家の発展は理想を求めて困難に耐え進んで祖国の建設に献身しようとする精神にみちた国民の不断の努力によって築き上げられるものであります。

諸子は今後社会に立ってますます自己をみがき研さんを積み高い知性と豊かな情操を養い強い意志力をつちかうとともにおう盛な責任感をもって当面の自己の責務を完遂するように努めてください。

また広く世界の大勢に目を向けすぐれた文化と伝統を有する祖国への愛情を深め国家の繁栄と人類の福祉に奉仕せんとする気慨を常にもっていただきたいと思います。

ここに卒業生諸子の成業を祝し将来に嘱望するところを述べてお祝いのことばといたします。

昭和39年3月10日

文部大臣　灘　尾　弘　吉

信州大学繊維学部第12回卒業生

繊維農学科（17名）

氏名	就職先	住所
勝野　睿夫	厚木ナイロン工業株式会社	神奈川県高座郡海老名町大谷3905
久納　勝徳	京都染工株式会社	京都市右京区川島有栖川町120の1
小島　克彦	片倉工業株式会社	東京都中央区京橋3の2の4
小林　重明	上田ガス株式会社	上田市南天神町
小林まち子	農林省蚕糸試験場	東京都杉並区高円寺
後藤　史郎	宮城県地方公務員	未　定
坂寄　和好	日本製麻株式会社	神戸市葺合区北本町通3の5
佐塚　隆一	新日本化学工業株式会社	愛知県安城市昭和町木槌80
杉島　薫	東海染工株式会社	名古屋市外西批把島町
高瀬　智朗	三共生興株式会社	東京都中央区日本橋人形町3の3
田中　勇三	郡是製糸株式会社	大阪市北区梅田2第一生命ビル4階
富山　昌臣	昭栄製糸株式会社	東京都千代田区神田駿河台3の1の2
松山　英之	長野県地方公務員	未　定
丸山　利男	長野県地方公務員	未　定

丸山 汪昭	いづみ化学工業株式会社	愛知県豊橋市関屋町226
宮沢 左門	鐘淵蚕糸株式会社	神戸市生田区播摩町49（坂引所ビル）
宮下 忠芳	小林コーセー	東京都北区堀船1の4

繊紡工学科（製糸専攻 20名）

秋元 義弘	日綿実業株式会社	東京都中央区日本橋室町4の5
石間戸恒美	旧村駒株式会社	大阪市東区安土町4の55
角川 安則	帝国ピストン(株)	東京都中央区八重州3の7
白石 直己	浜野繊維株式会社	東京都中央区京橋3の3
鷹野 学	東京セロハン株式会社	東京都足立区新田2の9
滝沢 敏雄	加工製紙株式会社	東京都千代田区丸の内
奏 一郎	伊藤万株式会社	大阪市東区本町4の46
南沢 健三	安宅産業株式会社	大阪市東区今橋5の14
柳沢 元久	興国人絹株式会社	東京都港区芝田村1の1
伊藤 健	深喜毛織株式会社	大阪府泉大津市
庵原 章良	興和紡績株式会社	愛知県知立町知立
大林 健	茶周染色株式会社	愛知県一宮市音羽通り
久保 稔	カロリナ株式会社	富山県東礪波郡井波町井波
水野 暢	岡畑産業株式会社	和歌山市中ノ店中ノ丁
関崎 昌寿	緑屋	東京都中央区京橋2の3
西沢 厚男	農林省国家公務員	横浜市中区北中通り5の57
昇 睦朗	日本ミネチュアーベアリング株式会社	東京都千代田区神田小川町
山口 雄平	牧野繊維株式会社	神奈川県上足柄郡
山田 妙記	国際工機株式会社	東京都千代田区内幸町
財津あけみ	昭和化学工業株式会社	東京都葛飾区青戸町2の1873

紡織工学科（28名）

栗田 一義	都築紡績株式会社	名古屋市中区白川町1の70
飯島 興	厚木ナイロン株式会社	神奈川県高座郡海老名町3905
稲垣 國昭	東洋ナイロン編物株式会社	富山県東礪波郡井波町
打保 勝郎	諏訪電線株式会社	諏訪市北沢一区9917
江元 研一	郡是製糸株式会社	大阪市北区梅田2
小木曾淑子	日本化学繊維協会	東京都中央区日本橋室町3の3三井別館3階
小沢 弘幸	片倉ハドソン(株)	東京都中央区京橋3の2
小野 恒雄	埼玉紡績株式会社	埼玉県川口市前川町1ノ2154
加藤 英夫	カロリナ株式会社	富山県東礪波郡井波町
神野 勝之	東洋紡績株式会社	大阪市北区堂島浜通2の8
小松 武臣	昭栄製糸株式会社	東京都千代田区神田駿河台3の1の2
小宮山 晃	厚木ナイロン株式会社	神奈川県高座郡海老名町3905
篠ヶ瀬勝義	ブリヂストンタイヤ株式会社	東京都中央区京橋1の1
杉浦 充	愛知紡績株式会社	名古屋市中区南園町2の4
春原 三郎	東洋綿花株式会社	大阪市東区高麗橋3の1
滝沢 國康	岩井産業株式会社	東京都中央区日本橋江戸橋3の6
田中 祥司	福助足袋株式会社	大阪府堺市南安井町2の50
友田 周治	堀田産業株式会社	栃木県足利市助戸仲町500
永島 春治	厚木ナイロン株式会社	神奈川県高座郡海老名町3905
西原 完吾	東洋ナイロン撚糸加工株式会社	東京都中央区日本橋室町2の1の1
野口 平	染工業株式会社	尼崎市常吉字北新田1
橋詰 久	大日本紡績（株）	大阪市東区安土町2の30
堀田助次郎	プラタク製糸株式会社	ブラジルサンパウロ州パウリスタ鉄道線パストス郵局39
右山 英一	レナウン工業(株)	東京都目黒区中目黒1の722
宮尾 廸弘	日本レイヨン(株)	大阪市東区今橋3の5
百瀬 嘉洋	呉羽紡績株式会社	大阪市東区本町2の28
森田 治	倉敷紡績株式会社	大阪市東区北久太郎町2ノ41
芳川 直史	東洋レーヨン株式会社	東京都中央区日本橋室町2の2

繊維工業化学科（34名）

赤尾 興一	東邦レーヨン(株)	東京都中央区日本橋通3の6
赤尾 睦男	富士フィルム株式会社	東京都中央区銀座西2の2
阿部 晃	信越化学株式会社	東京都千代田区丸の内1の2
石川 敦子	倉敷レイヨン株式会社	大阪市北区梅田2
石川 悦子	片倉ハドソン株式会社	東京都中央区京橋3の2
井出 邦徳	高分子化学（株）	大阪市北区堂島町1の25
伊藤 照郎	近鉄株式会社	大阪市天王寺区上本町1の1の1
川崎 堅史	郡是製糸株式会社	京都府綾部市青野町
菱 弘	日本接着剤（株）	大阪市東成区南中浜町1ノ46
小林 賢子	東洋レーヨン株式会社	東京都中央区日本橋室町2の2
斉所 裕	東京アセテート株式会社	東京都中央区日本橋芳町1の6
佐藤 功	旭化成株式会社	大阪市北区堂島浜通1ノ25ノ1
清水 真雄	明成化成株式会社	京都市右京区西京極中沢町1
白井 信好	富士紡績株式会社	東京都中央区日本橋本町2の1
白井 汪芳	大学院進学	北条研究室
鈴木 武司	兼松羊毛工業株式会社	大阪市東区淡路町5の33
諏訪 基	東洋レーヨン株式会社	東京都中央区日本橋室町2の2
関谷 公	日本レイヨン株式会社	大阪市東区今橋3の5
高橋 寛	厚木ナイロン株式会社	神奈川県高座郡海老名町3905
田中 寛文	京都晒染株式会社	京都市南区西九条春日町47
大工原正明	片倉ハドソン株式会社	東京都中央区京橋3の2
永井 敏之	東洋レイヨン株式会社	東京都中央区日本橋室町2の2
那須 誠治	東洋紡績株式会社	大阪市北区堂島浜通2の8
浜本 幸男	倉敷レイヨン株式会社	大阪市北区梅田8
平川 浅男	東洋ナイロン撚糸株式会社	東京都中央区日本橋室町2の1の1
福家 駿吉	昭和化学株式会社	東京都葛飾区青戸町2ノ1873
藤村 勝	住江織物株式会社	大阪市南区安堂寺橋通4の55の1
藤森 邦忠	東洋特殊電器株式会社	長野県上田市大屋
村井 俊男	大和紡績株式会社	大阪市東区南久太郎町4の25の1
森橋 孝之	興和紡績株式会社	名古屋市中区朝日町1の10
屋敷 利寿	東亜紡織株式会社	大阪市東区瓦町3の8
山浦 襄司	ライオン油脂株式会社	東京都江戸川区平井3の2397
山本 征功	東海染工株式会社	大阪市北区堂島北町13の1
渡会 義人	日本レイヨン株式会社	大阪市北区今橋3の5

林先生を思う

香山清和

12月18日先生宅を訪れたら奥様から先生が胃潰瘍で信大病院へ入院され13日手術，経過不良にて面会謝絶になっていると聞かされ驚いた。11月23日の千曲会総会の記念撮影では先生の隣にすわり夜の香青軒での懇親会では親しくお話をした許りなのでこのようになろうとは夢にも思わなかった。胃潰瘍というが或は癌ではないかと思われたので母校へ行って聞いて見たら矢張り癌で相当進んで居り手術途中で終ったとの事であった。絶望感が脳裏を走ったがそれでもあの丈夫な先生がと万が一の奇蹟を祈らずにはおられなかった。面会が出来ないので松本へ行くのは中止した。重体なるまま先生の切なる希望で1月9日自宅に運ばれたと聞き13日お見舞に行った。面接禁止というのを特にお願いしてお顔丈拝見した。帰宅された許りで顔を寄鷹に刺られていたので色艶もよく掛布団を足で跳ねのけられるのを見て思ったより元気のように拝見した。24日朝小諸へ出勤しようとする上田駅で丁度下車した土屋幾雄氏から先生が昨夜死去された事を聞きその日小諸からの帰途先生を弔問した。本来なら種々お手伝いしなければならないのであるが母校職員が主になってやっているので異分子の僕が加わっては却ってよくないと思い遠慮した。1月28日2時から新参町キリスト教会で行われた葬儀に参列した。キリスト教の葬儀は生れて始めてで式場は多数の参列者には狭ますぎたがストーブが入り腰掛であったから寒さやそれと較べ非常に楽であった。萩原千曲会理事長の弔詞の言葉が杜絶える事数回に及び僕もつい釣込まれて涙がこぼれた。最後に令息が先生の逝去される迄の経過報告をされたがその説明が実に見事で現実に観ている如く胸を打たれた。キリスト教式には初7日はないので2月10日先生宅を訪問し奥様にお会いし先生の思い出話につい長時間を費してしまった。

僕が母校へ入学して初めての授業が先生の乾燥論であった。それも奇妙な組合せで紡2との合併授業であった。従って講義が早く殆んどノートが取れなかった事を覚えている。これが先生を知った初めてであった。然かもこの授業はほんの2，3回で終り石坂先生の製糸論に引継れたので先生から受けた授業は後にも先にもこれだけであった。

当時上田中学（現在の上田高校）出身者で蚕専上中会が組織され時々会合があったので先生とも言葉を交わすようになった。その頃の会員の母校職員は林先生の他森山，樋口，八木，宮島，池田，都筑，甲田の諸氏が居ったように覚えている。こうした関係も僕が母校を卒業して紡績会社へ就職すると共に切れてしまった。学生時代の先生と僕との関係はこのような淡いものであった。

それが昭和7年僕が母校へ勤務するようになってから漸次親密の度を加えるようになった。僕の妹の嫁入先が先生の遠い親戚という関係が出来た上に僕が千曲時報（現在の千曲会報）の編集員となるに及びその最盛期を迎え現在のものの倍近くの大きさで多い時は30頁以上を出版したため毎月予算超過となり増額して貰うため会計の責任者（当時の千曲会は蒲生理事長，倉沢庶務理事，林会計理事の陣容であった）であった先生の処へせっせと通ったものである。この無理な請求も先生は心よく聞き届けて下さった。とは云え僕も広告を相当稼いだので実際にはそんなに迷惑はかけなかったものと思っている。

上田中学との関係も先生の意向もあり一段と活潑になった。蚕専上中会の会合に上中出身の上中職員たる甲田校長，池田，小泉，林，依田，清水等の諸先生が加わるようになった。

その頃の上中出身の母校職員には先生を始め由口，香山，鷹野，宮坂，平尾，金沢，芽野，小泉，宮下，山崎，林(太)小林，都筑，山寺等の諸氏がいたようだ。

臂の軽い僕は昭和14年には母校を飛び出して満州へ走り先生との間は疎遠となった。

それから先生と本当に親しくなったのはこれからである。時が流れて昭和23年僕は上海から帰国した。上陸第1歩，舞鶴で見た新聞に先生談として「早く会いたい」と書いてあり非常に懐しく思った。故郷へ帰ると直ぐ先生を訪れたらこちらからお願いしたい内に先生の方から就職口を世話され大いに感激した。その交渉は半年以上に亘り野口氏や伊藤学部長にもお骨折りを願った。然し年令の点や中共帰りという事が祟ってこれは遂に実を結ばれなかったがこんな事で先生の処へ何度もお伺いし非常に親密になった。結局県関係の団体に勤務する事になったが其後も九州の基督大に世話して頂いたり更に現在勤めているボロ学校に転ずる時も先生に多大なるご尽力に預った。又僕が昭和35年妻を亡した際も最初に後添の候補者を推薦して下さったのも先生であった。このような仲であったので他からも特別な関係があるように見えたらしく先生が学部長になられた時にも僕が暗躍したように1部から疑われ痛くもない腹を探られた。然し僕は何も運動はしなかったし校外の僕が仮にやったとして僕の云う通りになる者があるだろうか？先生の学部長当選と僕との間に何にも関係たい事を此処ではっきり申し上げて置く。

○

先生を世間の人は非常に幸運な人という。卒業生中母校に最も長く勤めたのも先生であったし昇給昇進の最も早やかったのも先生であった。昭和25年から千曲会理事長を4年勤められたのは幸運と関係はないとして卒業生中学部長適格者と思われる蒲生先生や八木先生をさし置いて最初に学部長とならられ，その選挙も最後に抽籤で当選されたのは幸運と云ってよいだろう。又退職後は決して多いと云えない恩給のみで生活される諸先生方の中で先生は終戦近くに現在市の中心に広大な土地住宅を買われ財政的にも恵まれた。然しこれ等は運のみではなく先生の人格，力量，先見の明等によるものがより大であると思う。

先生の若い時代の母校勤務は決して他で見てさえ楽なものではなかったと思う。母校随一の実力者大滝先生の政治的意図も含んだ強い先生への風当りには苦しみ通された事であろう。僕ならとうに喧嘩して飛び出していただろう。然し先生はよくこれを堪え抜かれ人間性もこれによって鍛えられたようである。然かも先生は大滝先生に対する不満を殆んど洩された事を聞かなかった。

学部長にならられてからも学部改新の先鞭をつけられ大局的見地から自分の出身であり嘗て科長であった製糸科の名称を抹消して紡織工学科と合併し新たに繊維機械学科の新設を断行された。

功なり名遂げて退職されてからは先生はロータリークラブに加盟されたり早起会に出席されたり家では朝顔作りや菊作りの趣味に生きられた。

先生は理屈を云ったり口論されることがなかった。そうかといって全然意見がない訳ではなかった。常識に富み相当の信念もありそれでいて人とは争わない。これは人の長となる器に通ずる。それ故先生に是非もう一度何かの長をやって貰いたかったし先生もそれを希望されご健康も許されると考えた丁度折もよし上田市長選に突入し先生が上田をのぼすの会の会長に推薦され先生は僕の家に来られ意見を求められた。

僕は当時の情勢から中立市長以外に解決の方法なくこの会が中立で進むならば先生の市長候補の可能性大なりと判断しこれを支持したが世間はそう甘くはなく僕の希望しない方向へ向ってしまい誠に先生には申し訳ないことをしたと思っている。然し先生も僕の意向だけで動いた訳でもあるまいと自分自身を慰めている。

僕は何か行動を起そうとする時には必ず先生の意見を聞いたものである。何時も聞いた当座はうまい方法でないと思うがその通りやると結果はよかったようである。先生は非常に常識人であり実際家であった。又経済面にも明るく株式等にも相当手を出されていたようである。この点技術出身としては型破りであった。又非常に世話好きでよく他人の面倒を見られた。僕もその最も大きい恩を受けた1人であった。

先生は幸運な人であると云ったが唯一の不幸は早く死去された事である。少くともも5う数年生きて頂きたかった。そして母校を，千曲会を，そして僕を指導して貰いたかった。割合に早く死去された事は或は最も不幸だったと云えるかも知れない。

先生は往年の陸軍少尉という立派なお身体で深酒等の無理はされず常に節制に努められていたのにあまりに早き今回の死に会う。人の寿命は健康と無関係であるとつくづく思う。

先生から11月23日の千曲会総会の夜の懇親会の席上「伊勢宮の菊花大会であまり多く入賞し具合が悪いので1部を他人の名前にした」と自慢話を聞いたのが最後の言葉になってしまった。

ここに謹んで先生のご冥福を祈ると共に遥か遠い天国から旧に変らない指導をして下さるようお願いして筆をおく次第である。

林貞三先生を憶う

糸32 三 村 大 八 郎

立春を過ぎて数日，今日は春らしい雪が静かに降っている。久しぶりに落着いた日曜をむかえて林先生を追慕する心のゆとりを持った。

1月24日夕テレビで先生の御逝去を知った。毎年御賀状をいただいたのに今年は先生からの御賀状を私宛の賀状の束の中に見出し得なかった。うかつな事にまさか先生が御病気だとは考えなかった。今から思えば当時すでに相当御重症であられたのであろうのに，お見舞も差上げずに過した事がくやまれる。

私と先生との最初の出合いは上田の入学試験当時にさかのぼる。日支事変も長期戦化した昭和14年3月上田の母校で受験した私は当時1日だけですんだ入学試験にのぞんだ。午前中に学科試験が終り，午後身体検査の後午後4時近くまで順番を待って受けた口頭試問の試験官が林先生であった。場所はすでに焼失してしまった旧本館一館の左端の教室であった。こちらはまだ少しニキビの残った青年，先生はもう大分の年配であった様に記憶するが，今改めて考えて見ればもうその頃の先生の年配に私自身が近づきつつあるのに気づくので，当時先生は40才台であられたと思う。わづか数分間の問答の内容ははっきり記憶はないが，只1つ共産党の事について聞かれて，あまりくわしい事については私にはわからない旨答えたら，今の君らにはそれが1番よいという様な事を云われたのを覚えている。

入学後この先生が製糸学の講義を担当される林教授である事がわかった。間もなく外遊の途に上られる先生を上田駅頭に送り，数ケ月して帰校なさった時は私は病気休学中であった。新合成繊維ナイロンが話題となった頃だと記憶している。病気や応召の為私は前後5年半母校に御厄介になったわけであるが，この間時局は大東亜戦争へと向い，蚕糸業は多大の打撃を受けた時代であった。1学生の身では何もわからなかったが，当時先生は自らの学問研究は一応完成されて，学校の仕事や卒業生のお世話の方に主に力を注がれて居られた様に思う。

休学を打切って学校へ出た頃先生は製糸科長になって居られた。時局柄先生の御心苦も大変であったと思う。我々学生も次第に落着きをなくしていた。いつか某先生の試験を全員エスケープして先生に叱られた事もあった。修業年限が3年から2年半に短縮されて，もうあと半年で卒業という時私は召集を受け，やがて召集が解除されて帰校した時は学徒動員の為上級生は半数も残っていなかった。先生は私の卒業について配慮して下さったが，実現せず，更に新学年迄半年の間空しく遊ばねばならなかった。然しこの御配慮は応召時の特別試験の御尽力と共に今尚感謝している。私の上田生活は三年で終った方々とちがっていただけに先生には本当に種々御厄介になった。

卒業迄6ケ月を残して復学した時身体に自信が欠かったので，学問で復立つべく，大学進学の希望を持っていた。私の相談にのって下さった先生は，私が心に思いたがら今迄の専攻と全くちがった方向への進学希望の為に発言を躊躇していた医学部進学を先生から持ち出して下さった様に記憶している。先生は私の身体を知って居られてそれが私の為に最良と考えて下さったのだろうか。私が医学部進学を希望したがらも尚躊躇して決心のつきかねている旨申上げたら，先生はこの緊迫した時局だからどの様な道に進んでもその道で国の為につくすならばそれでよいではないかと云われて私は決心がついた。その頃残留の在学生も工場に動員されたが，先生は私の身体を心配されて学校に残して下さった。講義がなくなったので私は窪田先生の研究室の一隅で勉強させていただいた。昭和19年夏の事であった。卒業迄のこの4ケ月の期間は私の大学入学後の学習の上に貴重なものであった。いつの頃だったか先生は私に母校へ残ってほしい事を言外にほのめかされた事があったが敢て強要される事はなかった。或は先生の発言の次第によっては私の1生が大きく変っていたかもしれない。

新潟医大を卒えてから，私が蚕糸業と縁がなくなったのでとかく疎遠勝ちとなり先生にお目にかかる機会も少くなってしまった。最後にお目にかかったのは母校創立50周年記念式の式場に於てであった。俺にはこんな弟子もあると申されて同席の方々に紹介して下さった。あの時はまだ大変お元気であった。実に昨日の事の様に思い出される。

多くの知己隣人のおかげで私は今日迄来たが，上田の5年半なくして今日の私はあり得ないし上田の生活は林先生なしには考えられない。とかくの批判を聞いた事もあるが，先生は私にとって親とも思える存在であり本当によい人であった。大滝先生，原田先生すでに亡く，今ここに又林先生と永別して改めて又世のはかなさと時の推移とを感じている。老令とは申せまだまだ元気で居られる年令である。いつまでも先生に生きていただきたかった。然し先生は功成り名を遂げたと申しても決して過言ではなかろう。先生の御膝下に親しく薫陶をうけた方々の様に身近に先生の御人格に接し得なかったが，種々面倒を見ていただいた1学生として先生を追慕申上げて先生の御冥福を祈る次第である。

先生どうぞ安らかにお眠り下さい。

(39.2.9. 記)

さろん

閏年の祝日

篠原　昭

今年のカレンダーをみると水曜日が祝祭日になるのが年に4回もあるのに気がつくであろう。1月1日の元旦，1月15日の成人の日，4月29日の天皇誕生日そして9月23日の秋分の日の4回である。ところが昨年は水曜日が祝日に当ったことが一度もなかったはずである。僕の場合水曜日はちょうどアルバイトの夜学のある日であるから特に気になったわけである。サボれる点は具合がよいのであるが時間ぎめの約束だから小使銭が少くなるので大いに不満である。そんなわけで祝日を少し分析してみることにした。

祝祭日の問題はすでに遠山啓氏が発表しているのでそれにならうことにする（朝日新聞，昭和35年5月7日，数学入門(下) PP 9～10岩波新書）。

いま各祝祭日を1月1日から通して数えると次表のようになる（ただし春分の日を3月21日，秋分の日を9月23日と仮定する

	祝祭日	1月1日	1月15日	3月21日	4月29日	5月3日	5月5日	9月23日	11月3日	11月23日
平年	通算日	1	15	80	119	123	125	266	307	327
	mod 7の余り	1	1	3	0	4	6	0	6	5
閏年	通算日	1	15	81	120	124	126	267	308	328
	mod 7の余り	1	1	4	1	5	0	1	0	6

modの7余り		0	1	2	3	4	5	6
休日数	平年	2	2	0	1	1	1	2
	閏年	2	4	0	0	1	1	1

この表からわかるように閏年の1月1日，1月15日，4月29日および9月23日は法7に関して合同である。すなわち同じ曜日になる。またmod 7の余りが2になる場合には平年でも閏年でも祝日がこないことになる。もし1月1日が土曜日であればその年は日曜と祭日が重ならないわけであり，閏年では1月1日が金曜日であっても日曜と祭日が重なるいわゆる日食がないことになる。最近では昭和35年（1960）の閏年の元旦が金曜日であったが，残念ながら春分が3月20日だったため日食となり1日損をしている。平年では昭和30年（1955）の元日が土曜日であったので日食がなかった。この年の秋分の日は9月24日であったが日食には無関係だったわけである。将来では昭和41年1月1日が土曜日になるがこの年のお彼岸が何日かわからないので正確なことは何とも言えない。1月1日が特定の曜日になるのは5年，6年，11年を周期として順次繰り返えすうえに，彼岸の中日の如何に支配されるので，日食が0という年は案外少ないのである。昭和23年に新しい祝祭日が定められてから日食の無かった年は昭和24年（1949）と昭和30年（1955）の2回だけである。

逆に閏年で1月1日が日曜日であればその年は日食が4回あることになる。昭和31年（1956）は閏年で1月1日が日曜日であり秋分が9月23日であったから正にこの条件に当てはまったわけである。しかもその前年は先に述べたように日食が全くない年であった。昨年の祝日が水曜日に1度もなかったのもこれと同じ理由である。

祝日でもう1つ気になるのは連休である。日～月の連休は閏年の1月1日が月曜日の場合にはmod 7の余りが1になる例の4回と勤労感謝の日の土～日半連休の5回あるが，5月のゴールデンウキークで日食が1回できる。土～日の半連休（土曜日を半ドンと考えて）は元旦が土曜日になるときであるから日食もなく連休の多い年になり，ゴールデンウキークも完全な飛石連休になるはずである。昭和47年はその条件に合致しているがいずれも彼岸に支配されることはいうまでもない。そんな先のことを期待する前に祝祭日も改正されることだろう。

これからの旅路 (1)　静岡　戸倉 八峰

(1)「60年の仮縫」余話

本年の私の年賀状に

果しけり　60年の「仮縫」

の愚句を添記した所，正月各方面知友人から何の事かと照会に接して恐縮している。無理もない問い合せである。

之は既報の「あれからの旅路」の中私の記述を別刷して別名を付けて小供，孫へ配したもので，その「伝記」に述べた通りの仮縫である。

この60年の仮縫を本縫一即ち小説化したいと思っているが，何時の日か根気や構想などの点もあり，当てにならぬ。

米寿画伯老夫人大谷さん女士詠

仮縫の待つ事久し晴衣裳

返句（八峰詠）

晴衣裳仕立賃なく縫い兼ねる

私はこの仮縫の描文中尤も感傷を現したのは馬鹿の一ツ覚え矢張り抽詞「リンゴの花咲く丘」（信濃を想う）である。

1，林檎の花は咲いたけど
　想いを寄せし　人いづこ
　高原の佳人はほゝえみて
　姿を消しつ　君恋し

2，都の花は見ずもあれ
　浅間の煙　陽に映えて
　千曲川原の月見草
　笑みを含みて　我を呼ぶ

3，スキー　スケート　冬山に
　続く5月の白い花
　田毎に宿る月の影
　信濃の流れ　水連し

4，松尾城跡の松風に
　古き昔を偲びつつ
　尽きぬ懐いを胸に秘め
　上田よりの　我旅路

山と別れ，川と別れ，そうして月見草と別れ，詩情豊かな信濃路を上田よりの我旅路，星霜50年今にこの旅情には思慕深いものあるを如何にせんと自負している。

(2)　これからの旅のスタート

昨年の今頃（1月15日，成人の日）は「あれからの旅路」の「私の六十年の不作」を記述最中であった。今年の今日は現在を起点とする「これからの旅路」の序の口のペンを走らすのである。この企ては私の若返り健康法として次号に説明する動機に依るもので短文随筆を私の60年後の坂道の道草として綴って見る気になったのである。

針塚長太郎先生 ―その伝記と追想記―

われわれの師父針塚先生が
いかに道をおもい
人間を愛してきたか……
あゆみつづけられた道を
いまあたらしく　ふりかえってみよう

A5版　280頁　実費領価　1部　1000円

（千曲会振替口座　東京43341番を御理用下さい）

申込先　信州大学繊維学部千曲会館内
針塚先生追想録刊行委員会

支会だより

群馬支会だより

多忙な年の瀬の12月7日午後1時から山口理事，会田先生を迎えて総会を開催した。

会議は恒例の会務報告，本会及び大学の近況を両先生から伺い，役員改選を行い，新支会長岸勝弥（蚕3）副支会長黒沢袈裟彦（糸16）の下に面目を一新する群馬支会への発足の第一歩を刻んだ。百有余名の同窓生が居り即会員としての活動がとかく鈍り勝ちであり，延いては運営もむつかしい大世帯な支会であるだけにお互いの協力が強く要望された。



議件終了後直ちに忘年会に入り酒肴の間先輩，後輩忌憚ない意見の交換，杉山群蚕社長のウイットに富んだ話術は尽きざる酒の味を弥々盛り上げ，近年にない賑やかであった。

遠来の山口，会田先生の御都合で午後7時と云う時間の制限があったことは，かえすがえすも残念であった。他面設営者としては，何時までも続くであろう宴の幕をおろす時機を得た次第である。

安筑支会定期総会報告

3月7日（土）に恒例の支会総会を，東に美ヶ原連峰を控え，西に日本アルプスを一望に眺め，西北に国宝松本城がそびえるという風光明媚の地，湯の原温泉の一日千両で，本部から竹田寛先生をお迎えして開催された。

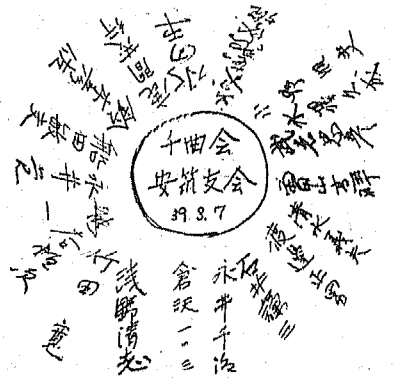
現在支会の会員は120名にも及び，その職種は自営27%，会社30%，官公庁22%，教職13%，その他8%と各方面の一線で活躍されており，多数会員の出席が期待されたが，丁度年末の多忙時で17名の出席に止まった。

まず支会長浅野清志氏（蚕15）から，支会の現状，今後の方針等が述べられた後，竹田先生から母校に大学院繊維学研究科，修士課程認可の経過，繊維化学工学科の研究室の新築状況，火災復興資金関係等のお話しがあってから議事に入った。

支会の本年度の会務は火災復興に関しての募金，会員名簿発行に伴なう事業所の広告斡旋，支会員の慶弔に関するものが主であったが，支会員の死亡，病気見舞等に関して論議があったが，結局3役において適宜判断し運用していくことで承認された。また一般会計及び特別会計の報告のあと副支会長山崎勝巳氏の転出に伴なう補欠選挙で永井千治氏（紡17）が選出されて無事議事を終った。

総会のあと懇親会に入ったが今回はとくにかつて母校で教鞭をとられた永井覚先生や大先輩曾山高祥氏もお見えになり盛会のうちに定期総会を終了した。

（水沢久成）



静岡支会総会の記

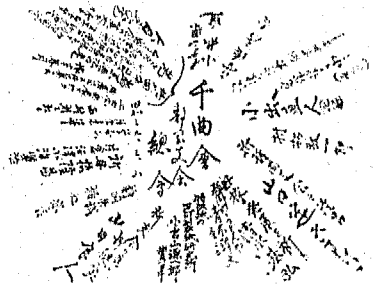
安倍房吉

早春の3月8日（日）静岡市で千曲会静岡支会の総会を開催した。もっと早くやる予定だったが年度末近くなってしまい時期としてはあまり良くなかった。然し今回は山田支会長の御指示で特に本部から会田教授と山口理事の両先生の御出席を依頼し，その旨通知状にも書いて出し為か，今迄に無い好結果だった事は本当に嬉しかった，と云っても45名の会員中出席15名，往復はがきで出したのに返事をくれた人が25人，これが総会をやる度に幹事としての頭痛の種だ。

然し今回の15名のうちに，若い新人が遠近から多勢出席しくれた事は何んと云っても心強く感じられた。処で，せっかく予定された両先生のうち，会田先生が御都合が悪く御臨席を得られなかった事は真に残念でしたが，山口先生には単身久々の御来静であったにも拘らず，終始各科にわたる会員との懇談に尽され，出席者一同に母校への郷愁を甦えらせてくれた事は本当にに良かったと思います。ここに支会員一同に代って厚く御礼申上げます。尚前支会長さんはじめ古い会員は敬老会にならないようにと出席を遠慮されたむきもあって相すまなく思います。

総会は静岡市の竜宮城ならぬ竜宮旅館で午後1時より山田支会長の名座長の下に開会され昨年秋の千曲総会の模様をその時の議長をされた山田さんが詳しく報告され，続いて山口理事から学校の近況につき，又千曲会からのお願いについてお話があった。また新人の出席も多い事とてまづ自己紹介を始めたところ，先生を入れて16名の紹介が何んと1時間40分もかかった。1人6分平均の熱演であった静大農学部で助教授をしている村松君（化4）は自分の若々しさをPRするために同級で同僚の清水君の頭の白髪を強調したり，大先輩の大野幼稚園長は「会費の集りが悪いのは政治の貧困にある」とぶったり，少壮サラリーマン片倉工業の西村君もまけずに会費納入の意のある処を強調したあとで「今に重役になるから，その時にはうんと寄附をしよう」とか，いづれも爆笑の連続だった。議事に入って最も頭の痛かった問題はいづこも同じ会費の点，但し誰にも共通しているのは納入の意志だけは大いに披歴していた事だ。（誠にあっぱれな心掛です）

然し会員名簿注文の件だけは極めて積極的で申込みが20部以上だったのには山口先生も，ようやく愁眉を開かれた模様500円の会費ではばかに安いなどと云い乍らさんざ呑み喰い（人の気もやりくりも知らないで）したあとで午後6時校歌や万歳三唱に終り，まづまづ散会となった次第である。



先生は翌日静岡県蚕業試験場と静岡大学教育学部（小出直人氏勤務）を訪問され帰学された。とにかく先生には本当に御苦労様でした。それから最後に新人組の片倉工業の西村利三郎君，国立遺伝学研究所の小林進君，巴川製紙ＫＫの小宮山源一郎君，静岡県蚕業試験場の堀込宗吉君らの今後の活躍を期待して筆をおきます。

出席者　支会長　山田　良人（糸18）
大野　久蔵（糸8）青木　幹夫（蚕22）
浅川　茂樹（蚕22）小出　直人（化2）
清水　基弘（化4）村松敬一郎（化4）
塚本　泰司（農2）小沢　賢治（蚕30）
宮沢津多登（蚕36）西村利三郎（学蚕3）
小宮山源一郎（学蚕2）堀込宗吉（学蚕2）
小林　進（学蚕2）
幹　事　安倍　房吉（蚕31）
本部理事　山口定治郎

本会記事

会員動静部委員会開催

3月16日動静部委員会を開催し，出席者は関博夫委員長，遠藤理事，外各委員で協議事項は①会員動静の正確な把握について―移動の多い4月には出来るだけ早く支会の報告を得て4月末までに各委員担任学科別の原稿を整備完了すること。支会にその後の動静報告依頼状を出すこと。②協賛広告について―今秋発行の会員名簿に協賛広告を得ることについては昨年総会において支会の斡旋を願うことになっているので，支会管内に本社のある関係会社に広告願うよう支会に依頼状を発送すること。なお支会に広告斡旋手数は広告料の30%と決定している。

新入会員歓迎懇談会開催

新入予定会員の歓迎懇談会は各学科別に学内理事，協賛員の出席を得て2月下旬から3月2日の間各学科毎に開催された。

理事長から本会の組織事業について挨拶があり各事業担任理事から説明あり，新入会員の実社会での活躍と健勝を期待して歓迎懇談会は有意義に終了した。

会報編集委員会開催

月例会報編集委員会を3月14日開催した。出席者は小林編集長，香山理事，小山定，小林勝，大工原健各氏で4月号会報編集について協議した。なお3月10日卒業の新入会員の就職所等動静一覧は各学科別に掲載することに決定。

JSA紐育事務所長に馬場氏新任

日本絹業協会紐育事務所長に新任の馬場武氏（糸18）は3月31日羽田発ノースウエスト機でニューヨークへ出発した。

馬場武氏は片倉工業株式会社第2営業部長であったが3月1日付で日本絹業協会に席を転じ，この度紐育事務所長に栄転した。なお本会員若林清氏（糸15）は現在日本絹業協会リヨン事務所長であるから日本絹業協会両事務所長が本会員で占めることになった。

母校ニュース

小泉学部長三選

2月21日学部長選挙は第1会議室において行われ小泉学部長は三選された。

学科主任決定

各学科主任は選挙の結果，繊維農学科主任松尾卓見，紡織工学科荻原清治，繊維工業化学科北条舒正，繊維機械学科柳沢延房，繊維化学工学科隅田隆太郎各教授に決定した。

田口亮平教授農場長に選任さる

農場長選挙は3月18日行われた結果，田口亮平教授が農場長に選任された。

入学試験施行

昭和39年度繊維学部入学試験は3月23日，24日両日施行された。試験場は繊維学部，東京，名古屋，大阪の4試験場で行われた。24日は長野県では私鉄ストにぶつかったがなんらのこんらんもなく無事終了した。

大学院審査員来校

2月22日大学院審査員井上吉之氏，石川章一氏外文部事務官2名来校し信州大学大学院繊維学研究科(修士課程)新設に伴う学部設備研究機関等について調査があった，流石に大学院審査官として厳密なる審査が行われた。

山岳部（創刊号）発刊さる

信州大学山岳会上田山岳部（学生）は昭和25年創立以来多くの山を愛する先輩によって，その活動が続けられてきたが最近の充実ぶりはとくに目ざましいものがある。

部報創刊号はその当初より今日にいたるまでの活動の記録であり，反省であるまず上田附近の山々，岩場を克明に紹介しているが，その山形と草木とをほうふつさせ，読者を引きつける，又多くの山行の記録はアルピニズムを目指して，いかに多くの困難と闘いつつあるかを語っており，20頁余にわたる今冬の剣岳での遭難救助の記録は，かざらない文章ながらも，部員どうし，山男どうしとその他の人々の間の友情によるつながりの深さがあらわれている。

いわな，かもしか，らいちょうなど山の動物紹介の記事も又楽しい。好奇心のつよいかもしかが人間の跡る姿に見とれつつ撃たれる話など珍しく思う人も多かろう。

A5版，130頁であり，写真図版が多く編集の苦心もさっせられる。

山岳部報（創刊号）を希望される方は上田市常入信州大学繊維学部体研内森田稲吉郎宛に250円（送料共）をそえて申込んで下さい。

母校火災復興資金完納者氏名　(39.2.21～3.30現在)

10,000円　宇治義治（紡7・東京）味沢泰造（糸5・東京）
4,000円　小山　清（糸11・群馬）
3,000円　山下政男（糸22・静岡）中島光夫（紡26・愛知）
2,000円　武者忠孝（糸22・安筑）小林重男（蚕15・神奈川）水口米雄（蚕28・北信）市川信一（蚕20・群馬）竹内好武（蚕23・群馬）
1,000円　小平一彦（蚕31・群馬）神林英雄（蚕32・群馬）桑島新一郎（蚕31・群馬）来田俊雄（蚕10・三丹）松本守人（蚕別5・飯高）浅輪田（化9・静岡）鷲見保俊（学化10・近畿）中沢利三郎（蚕17・群馬）栗林茂治（学蚕5・群馬）岩井実（紡23・群馬）横沢正雄（蚕23・群馬）三輪久利（蚕34・群馬）目崎武美（蚕26・群馬）長井利明（蚕36・群馬）大森文作（蚕33・群馬）杉山一雄（糸16・群馬）庭野明之助（糸16・群馬）黒沢袈裟彦（糸16・群馬）小山清一（糸36・群馬）大熊康代（蚕13・群馬）

小計　30人　60,000円　　累計　1445人　3,159,674円

千曲会員名簿発行のお知らせ

会員名簿を今秋発行することについては過般の定期総会において決定されました。これにつき各支会から順次所属会員の勤務先及び住所報告等のご協力を得ていますが会員各位も最寄りの会員の動静に変化があった場合は正確にお知らせ下さい。尚市町村名の変更した場合も必ずご通知願います。

原稿は4月末までに印刷所に廻わしますが，ご協力により正確な名簿といたしたい考えです。なお名簿発行要領は次のとおりです。

1，頁　　数　　500頁　B6版　会員 約5,000名
1，発行予定月日　　本年9月末頃
1，頒布価格　　大体400円前後の予定

以上事情ご了察の上ご協力の程をお願いいたします。

昭和39年3月

社団法人　千曲会員動静部

為替のご用は
はやくて　たしかな
富士をご利用下さい

千曲会へのご送金は、当店宛の振替貯金
口座長野3523が一番ご便利です

上田市原町
皆様の　富士銀行上田支店

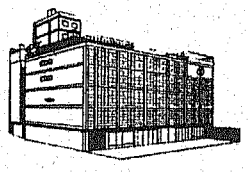
会員動静

桜井	幸男	紡	23	群馬	鐘紡紡績KK新町工場（群馬県多野郡新町）
滝沢	七郎	糸	38	神奈川	昭栄製糸KK大磯工場（神奈川県中郡大磯町高麗2167）
小泉	都雄	紡専	近	畿	鐘紡本部ナイロン加工部（大阪市都島区友淵町123） 大阪市城東区西鴫野3の235 鐘紡城東荘
黒川	貞澄	学紡	10	石川	カロリナ株式会社石川工場（石川県加賀市動橋町）
宮沢	岬	蚕	19	京滋	自営 ナイロン靴下製造会社 京都市上京区西三本木荒神口下ル（電(23)5818）
雨宮	金雄	蚕	17	東京	東京都北多摩北部事務所（東京都小平市花小金井1の788） 東京都八王子市明神町122（電八王子（0426）2—7685
三井	滋	糸	33	熊本	神戸生糸KK肥后工場（熊本市内坪井町117）
池内才八郎		学紡	5	京滋	東洋レーヨンKK技術サービス部ベイルート駐在員 ToyoRayon Co., Ltd Beirut, Office 4th Floor, Ouein : Bldg Place Riad Solh Beirut, (P.O.Box4458) LEBANON 留守宅 大津市園山2丁目東洋レーヨンアパートA1の14
百瀬	文雄	紡	14	富山	呉羽紡績KK庄川工場工場長（富山県射水郡大門町）
三村	光代	学蚕	9	東京	（旧姓浦生）東京都板橋区下赤塚町4895の6
福田	外平	化	5	埼玉	埼玉県入間郡武蔵町大字鶴ヶ屋571
鷲見	保俊	学化	10	近畿	呉羽紡績高槻研究所（大阪府高槻市西天川）大阪府吹田市山田下2790呉羽紡績千里丘寮
関	章一	蚕	37	群馬	甘楽高等学校（富岡市）群馬県富岡市七日市917
塚田	和麿	糸	25	東京	高分子工業株式会社（東京都品川区平塚5の58）
中原	亨	糸	28	東京	東京都港区赤坂青山南町5-92
萩野	喜次	糸	17	神奈川	農林省横浜生糸検査所（住）横浜市南区下永谷町659
橋本	治道	化	9	宮城	仙台市宮町71
柳沢	六平	紡	16	富山	呉羽紡績株式会社呉羽工場（富山県婦負郡呉羽町小竹2247）（電話富山㊀6151—2呉羽22） 同社宅
高橋	修三	学化	9	愛知	日本レイヨンKK岡崎工場 愛知県岡崎市日名町353 玲音荘第2クラブ
阿部	信夫	糸	29	越佐	十日町製糸工場（新潟県十日町市）（住）十日町市袋町東区
脇本	泰治	学紡	9	近畿	旭化成KK繊維研究所（大阪府高槻市安満）大阪府茨木市水尾90 翠光園
三石	昌	学化	3	近畿	勤同上 大阪府茨木市下中条旭化成アーパト
小池	三男	化	8	近畿	同 上 大阪府茨木市下中条旭化成アパート
春原	昌行	学紡	4	愛知	愛知紡績KK（愛知県半田市東洋町2の24）愛紡社宅5号

各種靴下機製造

大東製機株式会社

本社 静岡県三島市外清水町柿田 922
電 (5)—2520～2522
東京営業所 東京都台東区浅草蔵前2—7 蔵前会館ビル
電 (866)—6424. 6508. 1693



皆様の百貨店

上田・中央 ほてい屋

綜合建設工事一式

土木建築アスファルト舗装
上下水道衛生設備工事 設計施工

長野県上田市大字常入682

株式会社 宮下組

TEL（上田）(2)0271.2071.4034

編集室より

母校繊維学部第12回晴れの卒業式は3月10日行われた。研さんの功なって学窓をあとに実社会にスタートする99名の清新はつらつたる本会員を迎え祝福しいよいよご健勝ご活躍されますよう期待いたします。

39年度入学試験は3月23日，24日恒例の母校，東京，名古屋，大阪の4試験場で行われ4月1日発表4月13日入学式があり学園は活気を呈している。

会員動静部委員は正確な名簿を作りたいと務めています。4月は移動の多い時期です早目にお知らせ下さい。

編集委員 小林尚一，香山清和，大屋正尚，古平福紀
窪田 衛，大工原建，小山 定，滝沢達夫
小林 勝，白井要範